

仲間の大切さを 学んでいます

平塚市ジュニア・リーダーズクラブ

平塚市ジュニア・リーダーズクラブは昭和五十七年に、第一期平塚市中学生リーダー養成講習会の卒業生三十人によって、自主的に結成された団体です。市内の高校生が中心となり現在八十三人のメンバーが、地域の子ども会行事の手伝いや、仲間と交流したり、知識や技術・能力を高める活動をしてたりしています。

今年度は子ども会から二十件を超える派遣依頼をいただき、各地区のイベントなどで活躍しています。夏の大イベントであるキャンプは七十人以上の参加者で大いに盛り上がり、浅間祭や青少年健全育成のつどいにも参加しました。

◆認め合うことが大切◆

杉山織重さん

(平塚江南高校二年)



中学二年のときからジュニアリーダーとして活動してきました。

ジュニアリーダーの仲間との活動や地域での活動の中で、リーダーとは何なのかを考えたり学んだりしています。また、子ども会などの活動を通して多くの人と出会い、刺激を受け、自分自身成長させられています。

リーダー像については、ひとりひとり違っていると思いますが、その違いを認め合うこともリーダーとして大切なことではないかと思

夏休みの最高の思い出

平塚市青少年海外派遣団

一九八五年の「国際青年の年」を契機に、国際化の時代にふさわしい広い視野を身につけることを

目的に青少年海外派遣事業をスタートしました。今年度は七月二十一日から三十一日までの十一日間、中学生と高校生二十人が平塚市と姉妹都市のアメリカ合衆国ローレンス市を訪れ、ローレンス市の中・高校生や市民と交流し、国境を越えた友情を育みました。



定例会での
大山登山



キャンプ活動・足柄ふれあいの村

これからも、このクラブで出会った仲間を大切にしながら、クラブのすばらしいところを少しでも知ってもらおう活動を続けていきたいと思

青春

ウェルカム平塚 ローレンス市青少年の受け入れ



カウボーイ
ハットで
乗馬体験



調理実習で交流・
大原小学校



佐藤美奈子さん
(平塚江南高校二年)

ローレンス市のホームステイは、まるで夢のようにすてきな経験でした。



サヨナラパーティー

平塚市と姉妹都市のアメリカ合衆国ローレンス市の中学生を平成三年度から平塚市に迎え入れています。今年度十八人の中・高校生が六月十六日から二十五日までの十日間平塚市を訪れ、市内の学校を訪問したり、田植え体験などをしたりして、お互いの青少年が思い出をつくりました。

私たちが 主役 です

んでくれるような愛を感じました。だれでもにこっと笑いかけられて、言葉や人種を超えた心からの笑顔があふれていました。ローレンスで最高のお土産をもらいました。平塚もこのような温かいまちであってほしいと思います。心からの笑顔と大きな愛、このような心を持って、ニコニコ生活していきたいと感じました。

大きな世界に飛び出そう

平塚市海洋少年団

平成十年度から中学生を対象に、東海大学との交流事業のひとつとして大学の調査研修船「望星丸」をチャーターし、主に伊豆諸島へ航海する洋上研修を実施しています。



新島の
自然を満喫

今年度は、台風の影響が懸念されましたが、当初の目的である新島を訪れることができました。参加した四十人の中学生は、船内生活での厳しい規律を学ぶとともに、新島の美しい海での海水浴や島内でのウォークラリーを体験しました。



山田祥平さん
(横内中学校二年)

今回の研修で、本州と本州近海にある島々ではいろいろな違いがあることに気づきました。まず、海が違いました。相模湾の浅瀬は広けれど、海岸沿いはごみだらけです。新島の海岸は、狭いけれどとてもきれいで、海は青色を通り越して水色でした。自然も違っていて島の三分の二が森でした。

船のデッキから海を眺めていたら、トビウオが横に六〜七メートル飛んでいました。こんなすばらしい自然を体験できて、本当によかったと思いました。



早朝からのデッキ清掃

若い力を 応援します

第三十回平塚市青少年健全育成のつどい

青少年の皆さんが、日ごろの活動を発表する場として、今年度は十一月二十日に開催しました。

少年の主張作文コンクールとあがる家庭写真コンクールの最優秀作品発表、青少年海外派遣団、海洋少年団、青少年議会の活動報告、ジュニア・リーダーズクラブの人形劇など、いろいろな発表がありました。また、地域や学校で活躍する中学生の活動発表では、今年、平塚市ユースボランティアで活躍した中学生が、その成果を発表しました。



みんなて手話の大合唱

海洋少年団の活動発表

